

芸術・スポーツ

key word

- コーチング
- 野球
- バイオメカニクス
- 捕球
- ゲーム分析



小倉 圭
Kei Ogura

経済学部
准教授

【プロフィール】

- ・滋賀大学 経済学部 特任講師(2017～)
- ・筑波大学大学院 人間総合科学研究科 コーチング学専攻(2014～2018) 博士(コーチング学)
- ・筑波大学大学院 人間総合科学研究科体育学専攻(2012～2014) 修士(体育学)

【主な社会的活動】

- ・日本体育学会
- ・日本コーチング学会
- ・日本スポーツパフォーマンス学会
- ・日本野球科学研究会
- ・滋賀大学硬式野球部監督

【その他】

- ・野球内野手における通常のゴロおよびイレギュラーバウンドに対するゴロ捕球動作に関するキネマティクスの研究. 体育学研究, 2016 年
- ・大学野球内野手におけるゴロ処理に関するコーチング事例. コーチング学研究, 2016 年

【代表的な研究テーマ】

- 野球選手における動作分析を活用したコーチングに関する研究
- 野球のコーチングに関する事例研究・実践研究

課題解決に役立つシーズの説明

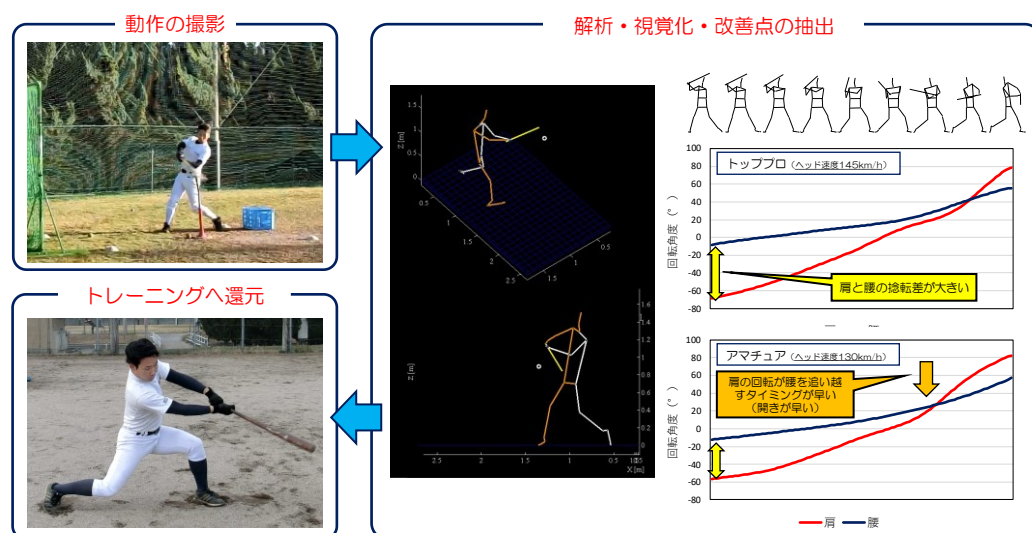
ジュニアから大人まで、野球選手のコーチングについて指導現場に役立つ知見の獲得や指導法の確立を目指した研究を行っています。

【1】野球選手における動作分析を活用したコーチングに関する研究

現在行っている研究は、主に野球選手の動作をバイオメカニク的に分析することで、指導に役立つヒントを得ようとするものです。

動作分析については、まず選手の動作を複数台の高速度カメラで撮影し、3次元 DLT 法などにより各身体分析点の3次元座標値を得ます。その得られたデータから各関節角度、速度などの詳細なパラメータを算出したり、実際の動作をスティックピクチャーとして示したりすることによって、選手の詳細な評価・診断が可能となり、指導やトレーニングに役立てることができます。

現在は、主に野球の守備動作についてパフォーマンスに優劣のある選手の動作を比較することで「優れた選手に共通する動作」を明らかにし、選手の指導に役立つ手がかりを得ることを目的とした研究を行っています。



動作分析を活用した科学サポートの一例

【2】野球のコーチングに関する事例研究・実践研究

コーチング学では、現場で実際に行われたコーチングそのものを振り返り(省察)、詳細に記述した事例は、自己および他のコーチの学びに役立つ価値のある情報になり得ます。そこで、野球の守備指導について自ら行ったコーチングを解釈、記述し実践報告としてまとめることで、自己および他のコーチが指導を行う際に手がかりとなる事例を蓄積することを目指しています。

その他、野球のゲーム分析など、さまざまな観点から野球のコーチングに関する研究を行っています。自身も指導現場に携わりながら、現場に役立つ研究を目指しています。

企業・自治体へのメッセージ

動作分析、ゲーム分析などの科学サポートをご希望されるチームの皆様はぜひご連絡ください。